

2026年4月30日

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

AI 駆動型開発 (AI Driven Development) サービス提供開始 ～システム開発 50 年の実績×生成 AI が開発の常識を変える～

本日、当社子会社である株式会社CAICAテクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役：鈴木 伸）が、下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

(添付)
別紙

「AI 駆動型開発 (AI Driven Development) サービス提供開始
～システム開発 50 年の実績×生成 AI が開発の常識を変える～」
(2026年4月30日付の株式会社CAICAテクノロジーズのプレスリリース)

以上

本件に関するお問い合わせ
株式会社CAICAテクノロジーズ 営業部
メール: info-sales@caica.jp

2026年4月30日

株式会社 CAICA テクノロジーズ
 問い合わせ先：営業部
 TEL：03-5657-3010
 メール：info-sales@caica.jp

AI 駆動型開発 (AI Driven Development) サービス提供開始 ～システム開発 50 年の実績×生成 AI が開発の常識を変える～



近年、企業の DX 推進が加速する中、システム開発における「スピード」と「品質」の両立は多くの企業が直面する重要課題となっています。こうした背景のもと、株式会社 CAICA テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 伸、以下「CAICA テクノロジーズ」）は、最先端の生成 AI を活用した「AI 駆動型開発 (AI Driven Development)」を通じて、開発現場の課題解決とビジネス成長の加速を支援します。

■ CAICA テクノロジーズの AI 駆動型開発とは

単なる生成 AI ツールの活用ではなく、長年の開発実績に基づく業務知識・技術ノウハウを組み合わせ、高品質な開発支援サービスです。

- ・ AI が生成したドキュメント・ソースコードを、経験豊富なエンジニアが業務知見をもとにレビュー・品質保証
- ・ 要件定義から設計・実装・テスト・運用保守まで、開発プロセス全体を AI がカバー
- ・ 蓄積したナレッジを AI に反映し、プロジェクトを重ねるごとに精度・効率が向上
- ・ 短納期開発やモダナイゼーション対応など難易度の高い対応が可能に

CAICA テクノロジーズの特徴・強み					
観点	★ CAICA テクノロジーズ	コンサル	大手 Sier 元請け	二次請け 以下	AI 専門 企業
生成 AI 活用	● 全工程で活用	△ 一部活用	● 自社製品 AI 化	× ほぼ未対応	● 強み
基幹系 開発構築実績	● 50 年超の実績	△ 知見あり	● 実績豊富	△ 部分的	× ほぼなし
提供先企業	● 中小～大企業	● 大企業中心	● 大企業中心	△ 中小企業 中心	△ スタートアップ 中心
対応範囲	● 要件定義～ 運用保守	● 上流中心	● 上流・運用 保守中心	△ 開発中心	△ 開発・PoC 中心
コスト	● リーズナブル	× 高コスト	× 高コスト	● 低コスト	△ 中～高コスト

● = 対応可・強み △ = 部分対応・限定的 × = 非対応・弱み
 ※本表は CAICA テクノロジーズの業界経験および一般的な市場傾向に基づく概念的な比較です。個社の状況により異なる場合があります。

■このような課題をお持ちではありませんか？

以下のようなお悩みをお持ちの場合、ぜひご相談ください。AI 駆動型開発により、抜本的な解決をご支援します。

- ・ 既存システムがよくわかっておらず、調査や改修に多大な時間とコストがかかる
- ・ 要件定義や設計フェーズでの手戻りが多く、プロジェクトが非効率になっている
- ・ 古いシステムや最新システムのプログラム言語に対応できる技術者が社内にはいない
- ・ 開発リソース不足により、スピードが上がらない
- ・ セキュリティ脆弱性テストまで手が回っていない

■ユースケース

1. 既存システムの仕様把握

今までのシステム開発・構築経験で培った知見を背景に、ブラックボックス化した既存システムに対し、AI がソースコードやログを解析。業務ロジックやシステム構造を高精度に可視化します。これにより、属人化を解消し、調査工数とコストを大幅に削減。複雑なシステムであっても、迅速かつ正確な理解を実現します。

2. ヒアリング内容から迅速で適切な要件化対応

お客様へのヒアリング内容をもとに、AI が業務課題や要望を迅速に整理・分析し、適切な要件定義へと落とし込みます。今までのシステム開発・構築経験で得た業務知見を AI に融合させることで、ヒアリング段階での認識齟齬を最小化し、手戻りの少ない精度の高い要件化を実現します。これにより、プロジェクト立ち上げから設計フェーズへの移行をスムーズに推進し、開発全体のスピードと品質を向上させます。

3. 実績のないプログラム言語による開発

今までの開発ノウハウと AI の知識を組み合わせることで、新たなプログラミング言語においても高品質な開発を実現。AI がベストプラクティスや設計指針を提示し、開発者のスキルギャップを補完します。これにより、企業は技術選択の制約を受けることなく、最適な開発環境を採用できます。

4. 短納期開発

今までの開発実績に裏打ちされたプロジェクト推進力と AI の自動化能力を組み合わせることで、要件定義から実装、テストまでを効率化。開発リードタイムを大幅に短縮しながらも、品質を担保します。リソース不足や納期制約といった課題に対しても、現実的かつ実行力のある解決策を提供します。

5. システムのセキュリティ強化

高度化・巧妙化するサイバーリスクに対応するため、セキュリティ診断サービスと AI によるセキュアコーディングを組み合わせ、開発段階からセキュリティを担保します。AI が脆弱性パターンを検知し、安全なコード生成や修正提案を行うことで、セキュリティ品質を標準化。さらに、診断結果を開発プロセスへフィードバックすることで、継続的なセキュリティ強化を実現します。

CAICA テクノロジーズは、長年の実績で培った業務知見と最先端 AI 技術を融合し、開発の在り方そのものを進化させます。AI 駆動型開発を通じて、企業の技術課題を解決するだけでなく、ビジネス変革を支える戦略基盤として、持続的な成長と競争優位の確立に貢献してまいります。

以 上